

## ■仕様

型名	フードセーバー® VS0195 (2000037430)		
電源	100V 50-60Hz	原産国	中国
消費電力	120W	重量	約 1.68 kg
外形寸法	約幅 405.0 mm × 奥行 156.5 mm × 高さ 69.0 mm		

### 保証書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この保証書は、保証期間中に故障が発生した場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。

この製品が、万一保証期間内に故障した場合は、フードセーバーカスタマーサービスセンターにご連絡願います。  
保証期間内に限り無料で修理させていただきます。(ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。)  
※修理を希望される場合、本書とお買い上げ証明(お買い上げ明細書、レシート、領収書など)の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

#### 【品名：フードセーバー® VS0195】

お客様ご氏名： \_\_\_\_\_ 様      ご購入日： \_\_\_\_\_ 年    月    日

お客様ご住所：〒 \_\_\_\_\_      保証期間：ご購入日より1年間

お客様電話番号(購入時) \_\_\_\_\_

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な点がございましたら、下記の当社フードセーバーフードセーバーカスタマーセンターにお問い合わせください。

### 無料修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった使用状態で故障した場合は、保証期間内に限り無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - 本書の提示がない場合
  - お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
  - お引き渡し後の輸送・落下・水濡れ等による故障および損傷。
  - 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
  - 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
  - 故障の原因が本機以外にある場合。
- 付属品等の消耗品の交換。
- 車両船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。
- 一般家庭用以外の用途(業務)
- 取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られていない場合の故障。
- 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
- 消耗品は保証対象外となります。
- 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
- 保証に関して不明の点がありましたら、当社フードセーバーカスタマーセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので大切に保管してください。

### お問い合わせ先

フードセーバーカスタマーサービスセンター

**0120-36-2040**

受付時間 平日 10:00 ~ 18:00(祝日、年末年始を除く)

輸入元：コールマンジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル

 **FoodSaver®**  
フードセーバー® VS0195 (2000037430)

### 取扱説明書

このたびは「フードセーバー®」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
- お客様の安全のため、必ず「安全にお使い頂くために」をお読みのうえご使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要な時にご使用ください。





## ■ご使用上の注意

1. 真空保存は熱処理される缶詰の代わりとなる保存方法ではありません。真空保存することで鮮度を保ちますが、殺菌作用はありません。生鮮食品は、冷蔵庫・冷凍庫にて保存してください。
2. 本製品は必ずフードセーバー®専用のバックロール、バッグ、ボックスと一緒にご使用ください。
3. 空気を吸引中、少量の液体、食品または食べ物が吸引溝に吸い込まれる場合があります。毎回、使用後は必ずドリフトレーを掃除してください。
4. 食材の入れすぎにご注意ください。必ず、容器の縁から食材まで2センチ以上の空間があることを確認してください。真空ジッパーバッグをご使用の場合、バルブに水分が触れる前に、吸引を止めてください。
5. バッグの中にとがった部分がある物をパックする際（パスタ、ナイフ、フォーク等）ペーパータオルなどのクッション材で一度包んでから吸引&密封してください。クッション材なしでは、バッグに穴が開く可能性があります。バッグの代わりに真空フレッシュボックスの使用をおすすめします。
6. 野菜を長期間おいしく保存する場、軽く湯通しするなど下処理をしてから真空保存してください。
  - お客様の不注意による破損・故障・ケガ・事故・火災に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。
  - 取扱説明書の使用ガイドライン、および指示が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
  - 使用前に、製品が破損していないか点検してください。
  - 本製品はおもちゃではありません。お子様や監視・監督が必要な方による使用はおやめください。

## ■ご使用にあたって

本製品は、食品やその他の生活用品を真空保存するものです。

- 食品を保存するときは、空気の吸引をおこない、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。
- 空気を抜いて密封しても、鮮度は少しずつ劣化します。早めの消費をお勧めします。
- 本製品はあくまでも鮮度を保つものであり、殺菌作用はありません。保存には十分ご注意ください。
- 業務用などで使用されている、強力な真空ポンプによる空気を抜き取る方法とは異なります。完全な真空状態にはなりません。

## ■本製品の用途について

- 本製品は一般家庭で個人が使用するために製造された製品です。業務用としての使用は絶対にしないでください。

## ■保管と廃棄について

- 本製品は安全で乾燥した場所に保管し、次のような場所には保管しないでください。
  - ・極端に高温、低温、多湿になる場所
  - ・ほこりが多い場所
  - ・お子様の手の届く場所
  - ・野外、直射日光のあたる場所
  - ・油煙や湿気のある場所
- 保管の際は、グリース、油、泥、氷雪、未乾燥の塗料、または他の滑りやすいものから遠ざけてください。
- 保管の際は、清潔に保ち、有害物から遠ざけてください。
- 保管の際は、必ず平らで安定した場所に保管してください。
- 本製品を廃棄するときは、行政・自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

## ■保守と点検について

- 事故防止のため、当社が推奨、または販売している部品のみ使用してください。
- 故障、劣化、または火や化学物質で腐食した場合は、使用しないでください。

## ●お願い

使用方法を誤りますと、機器を傷めたり、故障の原因になります。

- ドリフトレーは常にきれいな状態で使用してください。
- 一般の容器や袋では空気の吸引はできません。密封のみの使用は可能です。吸引&密封する場合は、必ずフードセーバー®専用のバックロール、バッグ、ボックスを使用してください。

## はじめに

フードセーバー®をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

フードセーバー®は、真空状態にして空気の侵入を防ぎ、食材や身の回りの物を酸化・腐食・湿気から守るためにご利用いただけます。一人暮らしの方からご家族まで、さまざまな方に幅広い用途でお使いいただけます。

[www.foodsaverjapan.com](http://www.foodsaverjapan.com)

フードセーバーを使ったレシピや、様々な活用法、困った時に役立つ情報は上記のWEBサイトでご覧いただけます。

ご質問・ご使用時にお困りですか？

フードセーバーカスタマーサービスセンターへご連絡ください。

0120-36-2040

安全に効率よくお使いいただけるよう、安全上の注意事項や使用方法を記載しています。

ご使用前に必ずお読みください。

フードセーバーは一般家庭用です。業務用としてご使用いただく場合の一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

※保証書は本書巻末にあります。本書を紛失しないよう、いつでも手に取れる場所に保管してください。

## ■もくじ

安全にお使いいただくために	1
使用上の注意	3
はじめに	4
フードセーバー®の特徴	5
各部の名称とはたらき	6-7
ご使用方法 / HOW TO	8-10
バックロールで袋を作る	
空気の吸引&密封保存	
アクセサリーを利用して吸引保存	
吸引後、真空フレッシュボックスの開け方	
付属品 / 別売り	11
お手入れ・保管方法	12
こんなときには	13
保証書	15

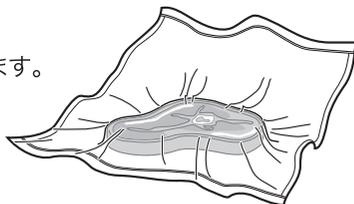
## フードセーバー®の特長

生鮮食品は空気に触れると栄養価、色、香り、みずみずしさ、品質が劣化します。フードセーバー®は専用バッグ/専用バックロールをつかって空気を抜き、密封バックすることで、食品の鮮度の低下や、酸化による品質の劣化を軽減します。

### ●鮮度・香り・成分を長く保つ

肉、魚介などを密封することで酸化による劣化を防止します。

- ・冷凍時の霜付き防止に
- ・冷蔵時の鮮度維持に
- ・もち、粉末類、茶葉、乾物の湿気・害虫防止に



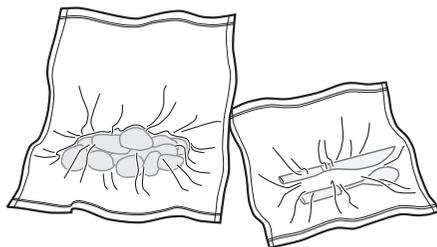
### ⚠ 注意

- ・本製品は食品の鮮度や酸化による品質の劣化を軽減するものです。保存した食品の安全性を保証するものではありません。
- ・業務用の完全密封真空パック類とは能力が異なります。ご了承ください。

### ●お金・時間・労力をセーブ

料理をまとめて買いし、賢く保存することでお金と時間を有効に使えます。

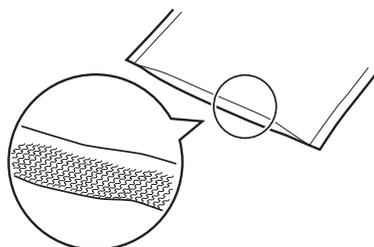
- ・料理の下ごしらえに
- ・できあがった料理の保存に
- ・茶葉・乾物の保存に
- ・余った食材の保存に
- ・アウトドアの移動時に
- ・汚れ・害虫防止に
- ・酸化による黒ずみ防止に（銀食器など）



### ●専用の袋で強力密封

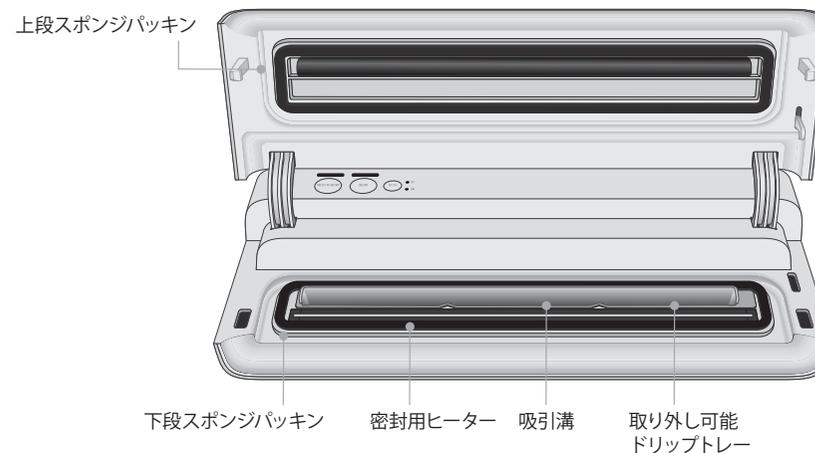
独自開発された専用の袋によって、強力な脱気力を実現しました。

- ・特殊な脱気溝造りにより、内容物の形状に関係なく空気の抜けがよくなり、密封度がアップします。
- ・外側のナイロン層は新鮮さを閉じ込め、空気と湿気をブロックします。



## 各部の名称とはたらき

### FoodSaver® VS0195 モデル



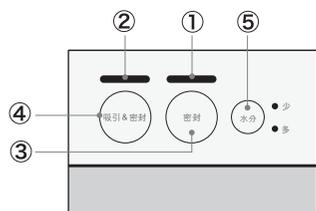
**注意：**上下段スポンジパッキンは使用による劣化で真空しにくくなることがございます。その際は、フードセーバーカスタマーサービスセンターで部品として準備しておりますので、お問い合わせください。

## 各部の名称とはたらき

### オプションアクセサリ（付属品）

#### 1. ハンディーシーラー

新鮮な食材やおやつなどに最適なフードセーバー®ジッパーバッグや真空フレッシュボックスと一緒に使用する。



フードセーバー®真空システムを最大限活用できるよう、利用者にとって使いやすいデザインのコントロールパネルを採用しました

#### ① 密封中ランプ

点滅している時は、密封作業中です。常時点灯していれば、密封作業の終了を意味します。

#### ② 吸引中ランプ

点滅している時は、吸引作業中です。常時点灯していれば、吸引作業の終了を意味します。

#### ③ 密封ボタン

このボタンは3つの用途があります：

1. フードセーバー®専用パックロールから袋を作る時に、ボタンを押して、片側を閉じる
2. 吸引作業を直ちに停止し、密封作業を開始したい場合。パン、クッキーや菓子パンなどのデリケートな食材の潰れをこれで防ぐ
3. ヒートシールしている市販の袋商品（ポテトチップスの袋など）を密封する事で、空気の侵入を防ぐ

#### ④ 吸引&密封ボタン

このボタンは3つの用途があります：

1. 食材の吸引・密封保存する際にボタンを押す。吸引が完全に行われるまでモーターが作動し、その後、自動的に密封する。
2. 吸引作業を一時停止したい時にボタンを押す（吸引作業中に再度ボタンを押す）。
3. ハンディーシーラーを使用する際にボタンを押す。

#### ⑤ 水分ボタン

汁気が多い食材に最も適した吸引&密封を自動的に行うには、『多』設定ランプの点灯に合わせ『水分ボタン』を押します。汁気の少ない、乾燥した食材は『少』をお選びください。

# How to...

## 〈ご使用方法〉

### 1. 保管スイッチを『オン（）』にする

### 2. フードセーバー®専用パックロールからバッグをつくる

1) 真空パックしたい商品が十分入る長さプラス約10センチほど専用パックロールから取り出し、ハサミで切ります。なるべく真っ直ぐに切ってください。

2) 吸引溝に切った専用パックロールの片側を挿入します。

3) フタを上から押して、カチッと音が鳴るまでロックします。運転の準備が整い、ふたが完全にロックされると水分『少』モードランプが点灯します。

4) 『密封』ボタンを押す

5) 密封が完了すると、密封中ランプが点滅から常時点灯に切替ります。フタを開けるには、両脇の『ロック解除ボタン』を押します。

これで、新しくできたバッグを使用して吸引&密封ができます。（次のページを参照）

本機はフードセーバー®専用パックロール大/小、真空ジッパーバッグS/L、真空ボトルストッパーおよび真空フレッシュボックスに対応しています。

### 3. フードセーバー®バッグで吸引&密封する

1) 食品をバッグに入れ、入れた食材から袋の端まで、必ず10センチ以上の余裕を残します。

2) 本機のふたを上げ、バッグの開いている口の先端を吸引溝の深い所に当ててください。

3) ふたを押して、ロックします。運転の準備が整い、ふたが完全にロックされると『少』モードランプが常時点灯します。

4) 『吸引&密封』ボタンを押し、吸引&密封工程を開始します。吸引が完全に行われるまでモーターは作動し、その後、自動的に密封します。

5) 密封が完了すると、密封中ランプが点滅から常時点灯に切替ります。両端にある『ロック』ボタンを押し、ふたを開け、バッグを取り出します。

注意：本機を20秒間休ませてから、次の吸引・密封を行って下さい。

#### 便利なコツ

バッグの無駄を最小限にするためにも、バッグを本機の奥に入れないようにして下さい。

取り外し可能ドリフトレーの端までバッグが掛かるように設置してください。



バッグをワイド接着ヒーターにのせる



フタを閉じ、ロックする



『密封』ボタンを押す



吸引溝にバッグを設置



ふたを閉じ、ロックする



『吸引&密封』ボタンを押す

# How to...

## 〈ご使用方法〉

### 4. フードセーバー® 真空フレッシュボックス（別売り）を使用して 吸引&密封する

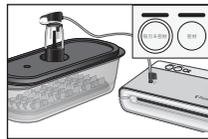
- 1) 真空フレッシュボックスを準備します（真空フレッシュボックスの取扱説明書を参照してください）
- 2) 本体の『アクセサリースーホース差込口』にハンディーシーラーのアクセサリースーホースの片側をカチッと鳴るまで差し込みます。もう片側は真空フレッシュボックスに接続します。
- 3) 本体のふたを上から押してロックします。運転の準備が整い、ふたが完全にロックされると水分『少』モードランプが常時点灯します。次に『吸引&密封』ボタンを押してください。
- 4) 吸引が完了すると、ランプが常時点灯に切替ります。真空フレッシュボックスを使用して吸引を行う際も、自動的に密封まで実行されます。
- 5) アクセサリースーホースを本体と接続されている『アクセサリースーホース差込口』から外す。
- 6) 真空フレッシュボックスのふたを引っ張ってみて、しっかり密封されているかの確認をしてください。しっかり密封されていれば、動きません。



本体の『アクセサリースーホース差込口』とアクセサリースーホース側の『差込口』両側にハンディーシーラーを接続する



ふたを閉じて、ロックする



『吸引&密封』ボタンを押す

### 5. ハンディーシーラーを真空ジッパーバッグと使用する

ハンディーシーラーは真空ジッパーバッグと併せて使用できます

- 1) ジッパーバッグに食材等を入れ、グレーの円が上向きに来るように平らにねかせる。バッグの空気を手で押さえて抜き、その後ジッパーを3/4ほど閉じる。完全にジッパーを閉める前に、残っている空気をなるべく抜く。
- 2) バッグの上にあるグレーの円の上にハンディーシーラーを押さえつけ、『吸引&密封』ボタンを押す。



# How to...

## 〈ご使用方法〉

### 6. ハンディーシーラーを真空ボトルストッパーと使用する

- 1) ハンディーシーラーの透明部分を取り外し、ホースのついている黒い上部についている突起部を真空ボトルストッパーに差し込む。
- 2) 『吸引&密封』ボタンを押す。ランプが消えたら、吸引終了です。



### 7. 吸引&密封後、フードセーバー® アクセサリーの開け方

#### フードセーバー® 真空フレッシュボックス

吸引を解除して開けるには、ダイヤルを『解除 (開ける)』の位置に回す。



#### フードセーバー® 真空ボトルストッパー

『ボトルストッパー』を少しずつ引っ張り、捻りながら瓶から外します。



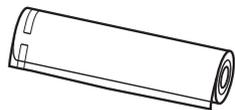
## 付属品



●ハンディーシーラー  
真空フレッシュボックスを使用する際にアクセサリホース差込口にに取り付けます。



真空ボトルストッパーを使用する際は、ハンディーシーラーの先端を外してください。

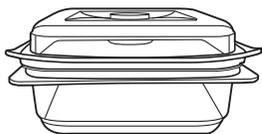


●専用パックロール (大×1)  
パックするときに使用します。食品の大きさに合わせてカットして使用します。補充用に別売りもごさいます。



●真空ジッパーバッグ  
Sサイズ×3  
Lサイズ×2  
補充用に別売りもごさいます。

## 別売り



●真空フレッシュボックス  
2020年まで  
[サイズ2] 158 x 79 x 108mm  
[サイズ3] 158 x 158 x 80mm  
[サイズ5] 158 x 158 x 115mm  
[サイズ8] 158 x 158 x 166mm  
[サイズ10] 318 x 158 x 111mm



●真空フレッシュボックス  
2021年から  
[サイズ3] 213.5 x 130.7 x 83.4mm  
[サイズ5] 213.5 x 130.8 x 112.9mm  
[サイズ8] 213.5 x 130.8 x 162mm  
[サイズ10] 302.1 x 204.1 x 93mm



●真空ボトルストッパー  
ワインやジュースの変質、酸化を防ぐことができます。

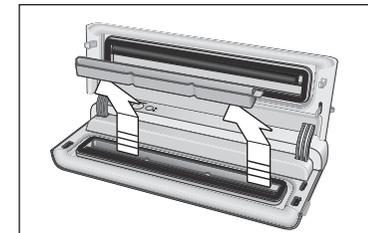
## 本体のお手入れ方法

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。絶対に水や液体などに浸けないでください。

ゴムパッキンとドリフトレー付近に食べ物がいないかご確認ください。ゴムパッキンは水を含む硬く絞ったやわらかい布で、必要に応じて丁寧に拭き取ってください。上下のパッキンは取外し可能です。必要であれば、中性洗剤とぬるま湯で洗えます。

ドリフトレーは取外し可能なので、少量の液体などが吸引時に吸い上がってしまっても、お掃除が簡単です。本機を使用後、毎回必ずドリフトレーを空にしてください。ドリフトレーは取り外して、中性洗剤とぬるま湯で洗ってください(又は食洗機の上段に設置して洗うことも可能)。完全に乾かしてから、ドリフトレーをもとに戻します。

パッキン周りの食材を取り除く



ドリフトレーは持ち上げて取り出す

## 本機の保管方法

### 保管方法

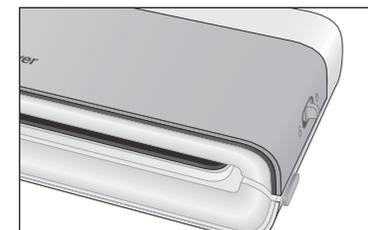
本体を上記のとおり、お手入れしてください。

本体のお手入れが済み、完全に乾いたら、ロックはせずにふたを下ろし、『保管 (🔒)』にスイッチを動かします。この設定で保管することで、内側のパッキンに不要な圧力が掛からず、押しつぶしを防ぎます。

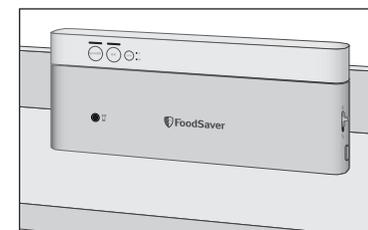
絶対に『オン (🔌)』に合わせてふたをロックしたまま、保管しないでください。パッキンが押しつぶされ、操作に不具合が生じます。

### 縦に保管

『保管 (🔒)』位置に設定してから、本体を縦に保管することで、場所をとらずキッチンに限られたスペースを有効利用できます！



スイッチを『保管 (🔒)』に動かす



## こんなときには

フードセーバー® 使用時のトラブル対処方法について説明します。

現象	対処方法
密封お知らせランプ(赤)が点滅している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機がオーバーヒートしています。続けて密封する際、必ず20秒以上間隔をおいて、冷却させてください。連続して使用すると、保護センサーが働き、操作を停止し、赤いランプが点滅します。冷却するまで本機を休ませてください。</li> <li>・密封と密封の間は必ず20秒以上間隔を開けてください。</li> </ul>
吸引が止まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッグをロールから作成した場合、片側が閉じていることを確認してください。詳しくは P.8「フードセーバー® 専用バックロールからバッグをつくる」をご確認ください。</li> <li>・バッグの位置を調節し、再度試してください。バッグの先端が吸引溝に入っているのを確認してください。</li> <li>・密封用ヒーターに沿ってバッグにシワがよっていないか確認してください。シワを防ぐためには吸引溝に差し込む際、バッグを軽く引っ張ってください。</li> <li>・本体のふたを開け、パッキンがしっかり設置されているのを確認し、異物、汚れなどが上下のパッキンにないことを確認してください。</li> <li>・アクセサリホースがアクセサリホース差込口に差し込まれていないかご確認ください。</li> </ul>
バッグが密封しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液体が多すぎる。吸引する前に、冷凍してから再度吸引してください。</li> <li>・パッキンに食ベカスなどあるか確認してください。食ベカスなどある場合、パッキンを取外し、きれいに洗い、吸引溝に戻す(詳しくは「お手入れ方法」をご確認ください)</li> <li>・バッグにシワが寄っていないかご確認ください。シワを防ぐためにはバッグを軽く引っ張ってください。</li> </ul>

## こんなときには

フードセーバー® 使用時のトラブル対処方法について説明します。

現象	対処方法
バッグを本体に差しこめません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッグがドリフトレーの中央まで届くよう、十分バッグに余裕がありますか?必ず10センチほど余裕をもってバッグを切ってください。</li> <li>・優しくバッグを伸ばしながら差し込んでください。バッグの端がドリフトレーに差し込むようにして入れてください。</li> </ul>
空気を一度吸引したのですが、またバッグに空気が入ってしまいました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密封部分を再度確認してください。シワが寄っている場合、空気が侵入する可能性があります。密封部分にシワがよるのを防ぐには、吸引溝にバッグを差し込む際、軽くバッグを伸ばしながら差し込んでください。</li> <li>・食材からの水分などが密着部分に付着すると、うまく密封できない場合があります。この場合、バッグを開け(ハサミで切る)、密着する部位(バッグ内側)の汚れ・水分をふき取り後、再度、吸引密封してください。</li> <li>・食材が発酵もしくは天然ガスが発生している可能性があります。万が一、このような状況になりましたら、食材が腐食し始めた可能性がある為、処分してください。</li> </ul>
バッグが溶けてしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密封用ヒーターの温度が上がすぎた可能性があります。必ず20秒以上使用間隔をおいてから次の密封作業を行ってください。</li> </ul>
それでもお困りの場合は	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードセーバーカスタマーサービスセンターにお問い合わせください：0120-36-2040</li> <li>・その他使用方法のヒントやよくある質問に対する答えは：<a href="http://www.foodsaverjapan.com">www.foodsaverjapan.com</a> をご覧になってください。</li> </ul>